

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------|--------------------------|-------------------|----|
| 授業科目 | 事例研究（観光地理） Case Study (Tourism Geography) | | | 担当教員 | 池永 正人 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1・2 年／後期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| テーマ：観光地の地域構造の解明 到達目標：観光地における観光資源の活用法と諸問題、将来計画などを巡検により実証的に理解する。 | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 地域の自然や産業、歴史や文化に関心を抱き、調査・研究に意欲的に取り組むことができる。 | | | | 野外巡検 | 10% | |
| 思考・判断 | 観光地域の特性や問題点を見出す観察力を養うことができる。 | | | | 野外巡検 | 20% | |
| 技能・表現 | 地域調査の方法やレポートの書き方およびプレゼンテーションの技法を身に付けることができる。 | | | | 野外巡検 研究成果レポート 研究発表 | 20% 30% 10% | |
| 知識・理解 | 観光地域の事象に関する自然科学や人文・社会科学の専門知識を修得できる。 | | | | 事前・事後学修 | 10% | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準および評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・演習は野外巡検である。 ・評価は、野外巡検、研究成果レポート、研究発表、事前・事後学修を総合して行う。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 授業は講義と討論を織り交ぜながら行う。巡検地は国内の主要な観光地とし、授業で検討して決定する。フィールドワークの一連のプロセスは、以下に示すとおりである。 | | | | | | | |
| ①巡検地の選定 | 調査・研究の目的や意義を熟慮して選定 | | | | | | |
| ②研究内容の検討 | 巡検地に関する文献・資料の分析 | | | | | | |
| ③現地調査 | 観察や聞き取りを実施 | | | | | | |
| ④レポート作成 | 調査結果の分析・整理 | | | | | | |
| ⑤研究成果の発表 | 口頭で発表し、質疑応答による研究成果の評価 | | | | | | |
| 【参考】 これまでの主な巡検地は、日帰り可能な以下の観光地である。 九州横断観光ルート of 別府、由布院、九重、阿蘇、熊本、島原、雲仙、小浜、長崎 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書：授業で研究地域を決定した後、関連する図書を指定する。 参考書：池永正人著『観光地理学入門—美観の観光資源の活用—』，同文館出版，2021 年 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 観光地の地域性を科学的に解明するためには、「観察」→「分析」→「法則の発見」のプロセス、すなわち帰納的手法を用いる必要がある。観光地の現象や事実を客観的に分析し、普遍性を見出す研究能力を身に付けてほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|------------|------------------------------|------------------------------|
| 1 | 演習の内容 | 過年度の実績と新年度の演習計画を説明する。 | 予習：シラバスの読み 復習：演習計画の確認 |
| 2 | 野外巡検地の選定 | 野外巡検（観光地）の目的・場所・日程等について検討する。 | 予習：野外巡検地の提案 復習：巡検地の文献調べ |
| 3 | 巡検地の事前学修① | 研究内容に関する文献・資料を輪読する。 | 予習：巡検地の文献読み 復習：文献の要点整理 |
| 4 | 巡検地の事前学修② | 文献・資料を輪読する。 | 予習：巡検地の文献読み 復習：文献の要点整理 |
| 5 | 巡検地の事前学修③ | 地形図を用いて土地利用図を作成し、現象を分析する。 | 予習：土地利用図の作成 復習：統図の整理 |
| 6 | 巡検地の事前学修④ | 観光施設等の観察調査の調査票を作成する。 | 予習：調査項目の考案 復習：調査票の項目整理 |
| 7 | 野外巡検の準備 | 野外巡検の日程・調査票・持参品等の確認をする。 | 予習：調査内容の確認 復習：持参品等の準備 |
| 8 | 野外巡検 | 紅葉の美しい11月に、観光地を1日調査する。 | 予習：巡検地の文献読み 復習：調査結果の整理 |
| 9 | レポート作成要領 | 観光地調査結果レポートの作成要領を提示する。 | 予習：調査結果の整理 復習：調査結果の整理 |
| 10 | 収集文献・資料の分析 | 現地で収集した文献・資料を輪読し、内容を分析する。 | 予習：文献・資料の読み 復習：レポート執筆 |
| 11 | レポート提出 | 観光地調査結果レポートを提出する。 | 予習：レポート執筆 復習：発表内容の検討 |
| 12 | 研究発表（前半） | 作成したレポートをもとに、授業内で個別に口頭発表する。 | 予習：発表の準備 復習：指摘内容の整理 |
| 13 | 研究発表（後半） | 前回に続けて、口頭発表する。 | 予習：発表の準備 復習：指摘内容の整理 |
| 14 | レポートの修正 | 添削したレポートについて、個別指導を行う。 | 予習：レポートの加筆修正 復習：レポートの加筆修正 |
| 15 | レポートの受理 | 修正した観光地調査結果レポートを提出する。 | 予習：レポート提出の準備 復習：文献・資料の整理 |